

原ゆうじ市政報告 VOL.40

TEL&FAX047(367)6754 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログ(原ゆうじの日記)も好評配信中！ 公式 HP:hara88.mobi



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ 上本郷小、六中、
立教高校、立教大学理学部化学科卒。
長瀬産業(商社)勤務を経て現在、
ベーカリー店経営
H22年市議初当選、現在2期目
妻、4子(3男1女)の6人家族

松戸市議会議員 原ゆうじの市政最新レポート！ 松戸の未来へ全力投球！！

とんでもない！

市立病院事業の経営実態！ 新病院建設の前に、急げ経営改革！

千駄堀新病院建設は順調！予定通り平成29年12月開院へ！しかし、その前に病院経営が問題だ！

26年度はなんと約37億円もの税金投入！26年度市立病院事業決算議案に反対しました！

9月議会、病院特別委員会が開催され、千駄堀新病院建設について、埋蔵物調査は順調に進み9月からいよいよ工事着工、予定通り平成29年12月開院を目指すとの報告がありました。新病院建設が順調な一方で病院経営は火の車！経営改革が進まず、病院事業全体で26年度、約36億円もの税金投入されたことが決算で明らかになりました。なぜこのような多額の税金投入になったのか？その原因は何か？今の病院経営の実態は？報告させていただきます！

多額の税金投入がある病院事業。その現状は？問題は費用の増加だ！

平成21年度～26年度、医業収益、費用&繰入金推移表(単位：百万円) 市立2病院(上本郷613床、東松戸198床)

	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算	26年度決算
上本郷医業収益(売上)	12245	13035	12816	12678	13578
上本郷医業費用	13424	13622	13868	14122	15372
上本郷繰入金(税金投入額)	2024	1610	1658	2523	2701
	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算	26年度決算
東松戸医業収益(売上)	1639	1708	1706	1539	1599
東松戸医業費用	2066	2094	2184	2199	2338
東松戸繰入金(税金投入額)	638	669	836	1058	1024

上記表からわかるように、2病院合計で毎年約23億円から37億円の繰入金(税金投入)が発生し額も増加しています。

(患者1人1日当たりの医業収益(売上)と費用の推移)

	24年度	25年度	26年度
上本郷収益	31534円	33418円	35110円
費用	34123円	37224円	39749円
東松戸収益	18240円	18668円	20022円
費用	23567円	26667円	29266円

26年度を見てみると、収益は増加しているものの、それを上回る費用の増加があり、経営を悪化させています。そこで、患者一人一日当たりの収益(売上)と費用について直近3年間を左表のように調べてみると、収益の増加を上回る費用の増加の傾向があることがわかりました。さて、このような費用増加の原因は何なのでしょう？

赤字の原因は人件費？東松戸病院人件費比率はなんと100%越え！

なぜ、このような収益を上回る費用の増加があるのか？その理由はズバリ、人件費の増大にあると思います。

東松戸病院人件費比率推移表(単位：万円) *人件費比率(%)=人件費÷医業収益×100

	23年度	24年度	25年度	26年度
医業収益	170829	170688	153942	159918
人件費	140386	150057	152146	161764
人件費比率	82.2%	87.9%	98.8%	101.2%

左記表のように近年、人件費は年々上昇しています。

そして、とうとう人件費比率は26年度でなんと、101.2%となってしまいました。

売上額よりも人件費の額が多いこの東松戸病院の経営状況は、まさに瀕死の状態かと思えます。

又、同様に上本郷病院でも、人件費比率が増加しており、これが赤字=税金投入の原因かと思われます。公立病院は不採算部門を抱えているとは言え、この水準は是正しなければなりません！千駄堀新病院は建設費約200億円です。

今のこの経営状況で、本当にその借金が返せるのか？大丈夫なのか？今から心配になります。

病院建設の前に、現在の2病院経営を立て直すことが先決と考え、26年度決算議案に反対しました。

しかし、決算に反対したのは、わずか8人(市民力、原、山中、谷口、大塚、清松会、大橋、桜井、箕輪、無所属、中田*敬称略)しかおらず、逆に賛成は35人と、過去最大の税金繰り入れとなったにもかかわらず、今回の決算議案は賛成多数で承認となってしまいました。大きな市民負担と新病院建設の必要性との間で、苦渋の決断で賛成した千駄堀新病院建設ですが、このままの経営状態では、残念ながら確実に市民負担は増えると思われます。

今回は「決算に反対」し、議会として病院に、しっかりと経営改革を迫るべきであったのではと考えます。